

授 業 科 目 名	環境教育論	教 員 名	酒井 正博	免許・資格 との 関係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	講義	担当形態	単独	卒 業 要 件	保育士	
科 目 番 号	SID320	配当年次	3年後期		こども音楽療育士	
単 位 数	2単位			小幼コース		
				幼保コース		
科 目	大学が独自に設定する科目（幼稚園及び小学校）					
施 行 規 則 に 定める科目区分 又 は 事 項 等						
科 目						
系 列						
到 達 目 標	・環境教育の目標は、持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成することです。環境問題への関心や責任感、問題解決のための能力を身につけ、環境保全に取り組む態度を育てることを目指します。 この講義は特に以下の目標は、掲げています。 ● 環境と人間との関わりを正しく理解する ● 環境問題への関心と感受性を育てる ● 環境保全のための責任と事態の危急性についての認識を深める ● 環境問題解決のための能力を身につけ、主体的に取り組む ● 環境負荷を最小限にとどめ、資源の循環を図る ● 環境保全のための取り組みを日常生活に生かす					
授 業 の 概 要	環境問題は、人間の活動によって地球環境が変化することで引き起こされる問題の総称であり、地球温暖化や大気汚染、海洋汚染、生物多様性の喪失など、さまざまな問題があります。環境問題に取り組むためには、まず現在の地球環境の状況について知る必要があります。そのために、この講義では、最初に、これまでの地球環境について紹介します。地球は、隕石の衝突、大規模な火山等により、生物の大絶滅が数回起こっています。次に、現在、進行している環境問題について取り上げます。 環境問題の例としては、次のようなものがあります。 ● 地球温暖化：温室効果ガス（主にCO2）が増加することで地球の気温が上昇し、海面上昇や気候の変化を引き起こしています ● 海洋汚染：工場排水や生活排水などによって海が汚染されています ● 生物多様性の喪失：開発や乱獲による種の減少や絶滅、生息地の減少などが起きています ● 砂漠化：開発や放牧、伐採、異常気象などによって砂漠化が進んでいます ● 熱帯林の減少：開発や伐採などによって熱帯林が減少しています 講義の後半では、身近な環境問題についての課題を取り上げ、これをグループで学習します。その結果の発表会を行います。この講義を通じて、環境に関する意識が高まることを期待します。					
SDGsとの関連	本講義は、SDGs目標のうち、「目標4 質の高い教育をみんなに」「目標6 安全な水とトイレを世界中に」「目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「目標11 住み続けられるまちづくりを」「目標13 気候変動に具体的な対策を」「目標14 海の豊かさを守ろう」「目標15 陸の豊かさを守ろう」に関連している。講義前半では世界が抱える環境問題について取り上げます。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	第1回：環境問題とは 地球温暖化、生物多様性、食料・水・人口に関する環境問題の現状及び世界的な環境問題への諸国					

	の対応、環境教育の目標、内容について解説する。また、現在、学校における環境教育の進め方を理解し、環境教育を学ぶ重要性について検討する。 第2-3回：地球の歴史 私たちが暮らしている地球の環境についての歴史を学びます。 第4回：地球の温暖化 地球の温暖化とその将来について考えます。 第5-6回：海洋汚染 工場排水や生活排水などによって海が汚染されてる現状を理解します。 第7-8回：食品の汚染 第9-11回：テーマ1（環境を守るためにゴミの分別は本当に有効か？）の発表会 第12-14回：テーマ2（ソーラーパネルの功罪）の発表会 第15回：まとめ
学生に対する評価	授業時に課す演習レポートの内容30%、定期試験の成績70%で評価する。 なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。 ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
授業外学習について	与えられたテーマについて調べる
テキスト	なし
参考書・参考資料等	講義で説明
担当者からのメッセージ	持続可能な開発のための教育を担う上で必要な知識、考え方を身につけて欲しいと思います。
オフィスアワー	毎週水曜日 9:00～12:00